

ました。

しかし、その矢先に、新型コロナウイルス感染症の拡大により、わが国のみならず世界中で旅行・観光産業は大きな影響を受けました。

我々も、普段目にしてきた観光客の姿がなくなり愕然としました。

ですが、旅行、観光は、新型コロナウイルスの影響が小さく抑えられる状況となれば、必ず復活する産業です。

旅行、観光には、非日常によるリフレッシュという側面と様々な歴史や文化に触れ自己研鑽に資する側面があり、これらを一度に充足し得るものは他にはありません。

世界はポストコロナの新しい時代を見据え、持続可能な旅行・観光産業の新たな形の創造の必要性に気付き、様々な取り組みを始めています。

ポストコロナ時代の鹿児島の観光の新たな形を確立し、鹿児島市が率先して観光立県をリードしていくことが地域全体の経済効果をもたらす原動力となると信じます。

3、施策及び事業の提言

鹿児島の観光の力をより効率的に、より強固にするために、私たちがメンバーから募った意見を提言として記します。

1. 移動手段・決済方法を安全に・分かりやすく・使いやすく

- レンタカー事業者に対する補助金や利用者への特典

新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、公共交通機関を利用することによる感染リスクを抑えたい観光客をターゲットに、レンタカーの利用をしやすいことで観光の幅を広げます。

- 観光バスの駐停車対策として、道路外の「空き空間」を有効活用したスペース確保の支援

市街地の観光スポットにおいては駐車場の不足が課題とされています。駐車場に拘らず、民間企業の空き空間を提供してもらうなどにより駐車場を確保します。

- 訪れる人に分かりやすく、ストレスフリーに移動ができる仕組みとして早急に市バス・市電へ全国共通 IC カード導入

昨年の提言でもありましたが、「ポストコロナ時代」において非接触型の決済手段はより重要視され、旅行者が普段地元で使用している全国共通 IC カードが利用できることによりストレスフリーに観光を楽しむことが出来ます。